

美空 ~MISORA~

第204号

発行日:2026年8月31日

発行者:NPO 法人 電線のない街づくり支援ネットワーク
理事長 高田 昇

目次 INDEX

・活動報告	
東京理事会・合同理事会	 1
・0806 東京活動委員会 メンテナンス レジリエンス 2026 概要報告	 3
・インターン企画	
無電柱化ビフォーアフター動画企画	 6
無電柱化狹隘道路の運転動画企画	13

特定非営利活動法人

電線のない街づくり支援ネットワーク
THE NETWORK FOR NON POLE COMMUNITY

【活動報告】

8/6(木)17:00~17:30

東京理事会

会場:住友林業会議室 M-2

WEB: Cisco Webex (WEB のみで開催)

参加者:7名

1. 北村支部長より

※本日の議題と活動委員会の予定の確認

2. 無電柱化推進展の振り返り(北村支部長)

- ・無電柱化関係のコンストラクションステージ講演(JMA 主催 250 名規模の講演) 昨年1件→3件
- ・NPO ブースでのミニセミナー10 件と合わせて、内外へ発信できたのでは。
- ・交流会イベントは、初の試みではあったが、JMA・NPO 双方とも盛り上がり大変よかった。
- ・ミニセミナーは相変わらず音響・接続が不安定。録画2 件出来なかったのは反省材料(前川理事)
- ・ミニセミナー、10 件のコンテンツが素晴らしいだけに、もっと宣伝強化をはかるべき。

3.10/20(火)・21(金)の街並み見学会について

- ・御代田町を予定。
- ・小園町長の参加をお願いしたい。日程調整をしたい。
- ・せっかく自治体のかたに来てもらうのであれば、10 名以上参加者を検討したい。

4. 今年の NPO 主催の無電柱化の日イベントをどうするか?

- ・11 月 10 日(火)は東京都が行い、井上事務局長が講演をする予定。
- 今回の東京都は、従来の建設局だけでなく、都市整備局も参加して実施する予定。
- ・10/25(日) 国交省・全国地方新聞社連合会 無電柱化の日イベント 豊洲そなエリア(予定)
- ・11/7(土) 大阪国道事務所主催 無電柱化の日イベント
- ・11/4(水)~10(火) 北海道札幌チカホパネル展
- ・11/10(火) 東京都無電柱化の日イベント
- ・11/11(水)が NPO としてするのがいいのでは(井上事務局長)
- いまのところ、有力な講演者候補はいない。
- 交流会のようなイベントがよいのでは(井上事務局長)



次回予定

9/16(水)東京理事会 17:00~17:30

合同理事会 17:30~18:00

WEB のみでの予定

【活動報告】

8/6(木)17:30~18:00

合同理事会

会場:住友林業会議室 M-2

WEB: Cisco Webex (WEB のみで開催)

参加者:12 名

1. 8月以降の主な予定

- 7/30(木) 夏季インターン生 6 名を受け入れ 関西5名、関東1名(オンライン参加)
- 8/7(金) ぼうさいこくたい 2026 出展者説明会 14 時~オンライン 村山支部長・塚田が参加(詳細後述)
- 広島勉強会
- ※東京都市局・東電タウンプランニング・井上事務局長が東京シンポを講演。
- 8/18(木) 大阪本部臨時理事会 8/31 の第 15 回全国技術委員会の打ち合わせ
- 8/24(月) ぼうさいこくたい現地地下見会 佐伯理事訪問予定
- 8/31(月) **第 15 回全国技術委員会 OSAKA**
- 大阪市立総合生涯学習センター第 6 研修室 15:30~16:50



9/16(水) 東京理事会・合同理事会(WEB のみ)

9/28(月) 沖縄活動委員会

9/16(水) 東京理事会・合同理事会(WEB のみ)

10/7(水) 東京理事会・合同理事会(WEB のみ)

10/17(土)~18(日) **ぼうさいこくたい 2026** ←16(金)から設営 鳥取県倉吉市(NPO のブースは鳥取県立美術館)

10/20(火)~21(水) **無電柱化街並み見学会**

御代田町で確定

10/25(日) 無電柱化の日イベント(予定) 全国地方新聞社連合マター国交省イベント

11/4(水) 東京理事会・合同理事会(予定)

11/4(水)~11/10(火) 北海道チカホイベント

11/7(土) 大阪国道事務所主催の無電柱化の日イベント

11/10(火) 東京都無電柱化の日イベント

※井上事務局長が参加の予定

11/11(水) NPO の無電柱化の日イベント(予定)

11/13(金) 首長会第 3 回勉強会(佐久市)

2. 無電柱化推進展の振り返り(抜粋)

【パネル展示】

・パネル展示の電線共同溝の流れは結構写真をとって帰るひとが多かった。

→HP とかで公開しておいて、QR コードを設けて、閲覧数を確認できるようにしておいてもよかったかもしれない。

・NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワークの看板をもっと目立たせることを今後検討したい。

【ミニセミナー】

・なんとか 10 件のミニセミナーを講演することはできた。

⇒昨年は 11 件行ったが、JMA と交渉し、コンストラクションステージでの無電柱化関係の講演を昨年の 1 件から 3 件に増やしていただき、実質は多くなるようにした。さらに交流会を企画するなどして充実させた。

・ミニセミナー、事前のリハーサルでは上手くいってても、いざ本番に切り替えるとうまくいかない場合があった。

・ミニセミナーのスピーカーを切り替えたのはよかった。

【無電柱化ネットワーキング交流会】

・無電柱化交流会、なんとかいい感じで終えることができた。60 名事前登録、70 名余り参加、途中退席者あり。

⇒来賓及び関係者の皆様の賜物だった。



ネットワーキング交流会、最後に参加者で記念撮影

3. 高田理事長の後任の件

4. ぼうさいこくたい 2026(鳥取・倉吉)に関して

・NPO ブースに、知事クラスが来る予定。総合的に無電柱化の説明ができるひとが必要だ。

→ぼうさいこくたいには、井上事務局長が参加し、対応する。

5. 次回予定

9 月 16 日(水) 17:30~18:00

WEB(Webex)のみ

東京理事会 17:00~17:30

【8/7 ぼうさいこくたい説明会の概要報告】

出展団体 552 団体(過去最大) うちブース展示 233 団体

当 NPO 展示場所:鳥取県立美術館1階 県民ギャラリー

ブース No.は、B130

※B128に 内閣府防災(政策調整担当)

9 月中旬に出展者説明会 →出展者パス発行

10/16(金)12:00~搬出・搬入可

10/17(土)・18(日)展示 展示時間 9:00~18:00

10/18(日) 16:00~18:30 撤去

常時1名以上はブースで説明できるひとを配置

無料の Wifi サービスあり、有線 LAN は有料。



合同理事会の様子(モニター画面より)

【これからの予定】

8/31(月)15:30~16:50

第 15 回全国技術委員会 OSAKA

会 場:大阪市立総合生涯学習センター5 階第6研修室

正会員/首長会会員限定 8/31(月)開催
第15回 15:30~16:50
全国技術委員会 OSAKA
7月開催の無電柱化推進展ミニセミナー
ふっちゃんトーク延長戦!
大阪市立総合生涯学習センター 5階第6研修室 [ここをクリック!](#)

キツッ!
狭隘道路の無電柱化は進むのか!

7 月に行われた無電柱化推進展ミニセミナーの延長戦として、狭隘道路の無電柱化を進める方法(改訂版・工事編)について話を進めます。

国土交通省が今回発した第 3 次無電柱化推進計画では、ゾーンプラス 30 を中心に狭隘道路の無電柱化を進めています!

私達は、その狭隘道路の無電柱化に切り込んでいきます!

皆さんも一緒に考えてみませんか。



NPO 法人 電線のない街づくり 支援ネットワークの会員募集



私たちはこの NPO の活動を通して、日本の街に美しい空を取り戻したい、災害に強く、安全安心で住み良い街にしたい。そして“美しい国”を子ども達に残したい。

このような想いのもと、当 NPO の活動に共に参加し、年会費を通じて支援して下さる、個人・企業様を募集しています。ご推薦も是非お願い致します!

会員募集のご案内

<https://nponpc.net/%e4%bc%9a%e5%93%a1%e5%8b%9f%e9%9b%86/>

メンテナンス・レジリエンス2026 出展報告

会期 2026年7月15日(水)～17日(金)

会場 東京ビッグサイト

NPO法人電線のない街づくり支援ネットワーク
東京支部 2026年8月度 東京活動委員会資料

展示会 JMA：一般社団法人日本能率協会主催

産業界の活性化に貢献することを目的
に1960年に「第1回メンテナンス
ショー」を開催

製造・インフラ産業から食・サービス産
業まで幅広く

東京・大阪・福岡・北海道とオンライン
で、年間約30本の専門展示会を実施

多様な企業・産業・業界・国新たな出
会い、つながりをつくる機会を創出



来場者数	7/15 (水)	7/16 (木)	7/17 (金)	合計
天気				
メンテナンス・レジリエンス2026 個別来場者数(*1)	6,207名 (5,394名)	7,073名 (6,355名)	8,134名 (7,676名)	21,414名 (19,425名)
プラントショー 2026 個別来場者数(*2)	2,094名 (883名)	2,440名 (1,033名)	2,826名 (1,218名)	7,360名 (3,134名)
他展からの相互入場 相互来場者数(*3)	4,126名 (3,278名)	4,969名 (4,191名)	5,856名 (5,498名)	14,951名 (12,967名)
日別合計	12,427名 (9,555名)	14,482名 (11,579名)	16,816名 (14,392名)	43,725名 (35,526名)

協賛展示

東京都省エネ・再エネ住宅推進
プラットフォーム様 展示物

オーコ様 展示物

未来工業様 展示物



講演会・ミニセミナー等タイムスケジュール

第14回無電柱化推進展(7/15-7/17)

ミニセミナー タイムスケジュール

東京ビッグサイト東3ホール 3-N21

時間	7/15(水)	7/16(木)	7/17(金)
10:30	10:30~11:00 WEBテストなど、最終調整	10:30~11:00 WEBテストなど、最終調整	10:30~11:00 WEBテストなど、最終調整
11:00	11:00~11:30 WEBテストなど、最終調整	11:00~11:30 WEBテストなど、最終調整	11:00~11:30 WEBテストなど、最終調整
11:30	11:30~12:00 WEBテストなど、最終調整	11:30~12:00 WEBテストなど、最終調整	11:30~12:00 WEBテストなど、最終調整
12:00	12:00~12:30 WEBテストなど、最終調整	12:00~12:30 WEBテストなど、最終調整	12:00~12:30 WEBテストなど、最終調整
12:30	12:30~13:00 WEBテストなど、最終調整	12:30~13:00 WEBテストなど、最終調整	12:30~13:00 WEBテストなど、最終調整
13:00	13:00~13:30 WEBテストなど、最終調整	13:00~13:30 WEBテストなど、最終調整	13:00~13:30 WEBテストなど、最終調整
13:30	13:30~14:00 WEBテストなど、最終調整	13:30~14:00 WEBテストなど、最終調整	13:30~14:00 WEBテストなど、最終調整
14:00	14:00~14:30 WEBテストなど、最終調整	14:00~14:30 WEBテストなど、最終調整	14:00~14:30 WEBテストなど、最終調整
14:30	14:30~15:00 WEBテストなど、最終調整	14:30~15:00 WEBテストなど、最終調整	14:30~15:00 WEBテストなど、最終調整
15:00	15:00~15:30 WEBテストなど、最終調整	15:00~15:30 WEBテストなど、最終調整	15:00~15:30 WEBテストなど、最終調整
15:30	15:30~16:00 WEBテストなど、最終調整	15:30~16:00 WEBテストなど、最終調整	15:30~16:00 WEBテストなど、最終調整
16:00	16:00~16:30 WEBテストなど、最終調整	16:00~16:30 WEBテストなど、最終調整	16:00~16:30 WEBテストなど、最終調整
16:30	16:30~17:00 WEBテストなど、最終調整	16:30~17:00 WEBテストなど、最終調整	16:30~17:00 WEBテストなど、最終調整
17:00	17:00~17:30 WEBテストなど、最終調整	17:00~17:30 WEBテストなど、最終調整	17:00~17:30 WEBテストなど、最終調整
17:30	17:30~18:00 WEBテストなど、最終調整	17:30~18:00 WEBテストなど、最終調整	17:30~18:00 WEBテストなど、最終調整

3つの情報発信を組み合わせた

コンストラクションステージ

ブース内ミニセミナー

無電柱化ネットワーク交流会

コンストラクションステージ

コンストラクションでは今回講演された
東京都建設局(7/15)
国土交通省道路局(7/16)
東京都都市整備局(7/17)のそれぞれの講演は
MAX250名収容の会場が満員の盛況だった。
写真は、東京都都市整備局 牟田口課長の講演の様子

行政の最新情報を大会場から発信



ミニセミナー-(NPO ブース)



常に情報発信する(音を出す)
ことで多くの人の注目を浴びた



ネットワーキング交流会



講演を「聞く」だけに終わらず「話す」場へ

振り返りと課題

1. 良かった点

1. 当 NPO の国交省・東京都とのパイプを生かし、コンストラクションステージでの講演者を 3 名紹介できた。⇒無電柱化の講演 昨年 1 件⇒今年 3 件
2. いずれの講演も満席となり、来場者に無電柱化における行政の最新情報を提供できた。
3. 講演会に続いて交流会を開くことで、聴講者の疑問を直接聞く機会を設けることができた

4. 交流会という新たな企画を提案・主催し運営することで、関係者間の情報交流の機会を作ることができた。⇒無電柱化推進の活性化
5. 交流会の開催は、JMA 様にとっても有益だった。⇒展示会自体の活性化(来場者増)
6. NPONPC が運営を担うことで、出展ブース(1 コマ分)の無償提供が得られた。
7. ミニセミナーの開催は、コンストラクションステージにを補完し、無電柱化に関する情報を、会期中ほぼ途切れることなく提供し続けた。
8. 積極的に音を出すことでブースの集客に寄与した。

9. 会員企業の協賛広告（直接展示・パンフレット広告）は、相互にメリットがあった。

2. 課題

1. ミニセミナーの音響はハウリングが入る、音が拾えないなど不安定さがあった。
2. ミニセミナーの録音の欠落が2件あった。

**無電柱化推進展は、
展示するだけでなく、
情報を発信し、人をつなぎ、
無電柱化を推進する場をつくる！**

無電柱化推進展 2026 ミニセミナーまとめ報告 2026.8.6

前川 充 Mitsuru Maekawa

ミニセミナー 2026.7/15（水） 1日目

13:10～13:40

北海道における無電柱化の日イベントの紹介 (WEB)

北海道開発局 建設部 道路維持課 防災第1係長
矢野洋介

14:10～14:40

面整備における無電柱化の推進について

国土交通省 都市局 市街地整備課 課長補佐
野田幸久

15:00～15:30

第3次無電柱化推進計画を踏まえた無電柱化 における合意形成の取組み

国総研 道路交通研究部 道路環境研究室 主任研究官
根津佳樹

北海道開発局：北海道における無電柱化 の日イベント

1. 北海道では173市町村のうち52市町村で無電柱化が実施済み・実施中だが、道路全体の無電柱化率は約2%にとどまり、さらなる普及啓発が必要である。
2. 11月10日の「無電柱化の日」に合わせ、北海道開発局・北海道・札幌市が連携し、全道30会場でパネル展を開催した。
3. パネル展では、事例紹介、Before & After、防災、出前授業、管路材展示などを通じて、無電柱化の目的と効果を伝えた。

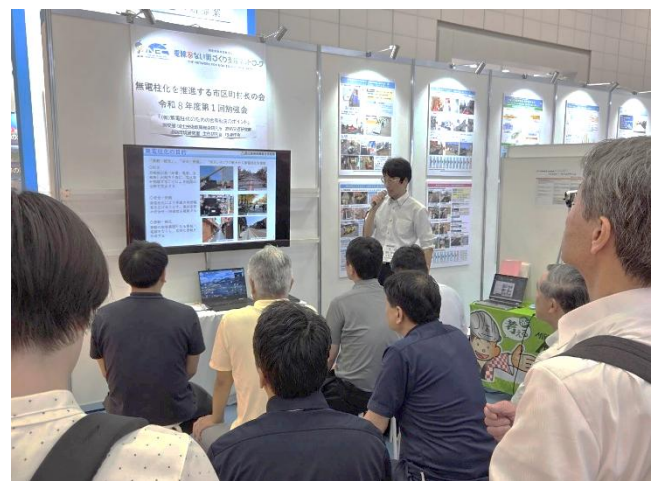
4. ミニチュア、VR、AR、マイクラフト、クイズなどにより、子どもから大人まで体験的に学べる場をつくった。
5. アンケートでは1,226件の回答があり、無電柱化推進への賛同80%、興味喚起82%と、啓発効果が確認された。

国交省 都市局：面整備における無電柱化の推進

1. 面整備は、既設電柱を減らすだけでなく、新設電柱を発生させない重要な機会である。
2. 区画整理や再開発では、都市計画決定など早い段階で電線管理者・道路管理者と情報共有することが鍵になる。
3. 無電柱化まちづくり促進事業により、電線共同溝方式によらない面整備型の無電柱化にも財政支援がある。
4. ガイドラインは、制度説明に加え、コスト縮減、合意形成、低コスト手法、協定書ひな形など、実務支援へ拡充されている。
5. 今後は、開発許可・区画整理・再開発の初期段階に、無電柱化を標準プロセスとして組み込めるかが論点になる。

国総研：無電柱化における合意形成の取組み

1. 第3次無電柱化推進計画では、従来の「計画策定」「工事着手」だけでなく、入線・抜柱まで含む整備完了率が重視されるようになった。
2. 「電柱は増やさず確実に減らす」という方針のもと、無電柱化の評価軸が、事業着手数から実際に電柱を減らした成果へ移りつつある。
3. 通学路や景観形成では、電線共同溝だけでなく、側溝配線、屋側配線、迂回配線など、地域条件に応じた手法選択がより重要になっている。
4. 「合意形成の進め方ガイド」は、自治体担当者向けに、路線選定・設計・施工の各段階で、関係者がどう関わるかを整理する実務ツールとして位置づけられている。



5. 今後の改訂では、迅速な抜柱や円滑な手続きに向けた記載が充実される予定であり、未抜柱対策と合意形成の実務化が次の焦点になる。

ミニセミナー 2026.7/16 (木) 2日目

11:20~11:50

ぶっちゃけトーク

～狹隘道路と電柱の相性を改めて考える～

NPO 大阪井上理事、NPO 大阪佐伯理事、井上事務局長

13:10~13:40

北海道支部の活動から 5/14 に開催した無電柱化北海道フォーラム 2026～津波から命を守る防災・無電柱化へ～の概要報告を中心に

NPO 北海道村山支部長

14:10~14:40

無電柱化推進の現状

NPO 松原副理事長

15:00~15:30

「地域の景観を活かす「無電柱化」推進のポイント」の紹介

寒地土木研究所 地域景観チーム 主任研究員

杉田和之

ぶっちゃけトーク：狹隘道路と電柱の相性を改めて考える

1. 狹隘道路では、電柱を単なる占用物ではなく、歩行者・児童・自転車の動線を阻害する道路安全上のリスク要因として捉え直す必要がある。
2. 道路拡幅後も拡幅部分に電柱が残る事例があり、道路整備時に無電柱化・抜柱まで一体で扱わなければ整備効果が損なわれる。
3. ゾーン 30 プラスや通学路では、電柱を避けるために児童が車道へはみ出すため、無電柱化を交通安全対策の一部として位置づける必要がある。
4. 狹隘道路では、浅層埋設、小型ボックス、側溝内配線の代替など、現場条件に応じた組み合わせ型の工法検討が重要になる。
5. 未抜柱問題や自転車通行空間整備との同時施工を含め、道路整備の機会を逃さず、実際に電柱を減らす仕組みづくりが次の論点である。

村山北海道支部長：命を守るインフラとしての無電柱化

1. 無電柱化を「景観整備」ではなく、津波避難路を機能させるための命を守るインフラとして位置づけ直した点が大きな転換である。

2. 北海道沿岸部では、冬季夜間停電、車依存、高齢化、積雪・凍結が重なり、避難の可否は本人の意思だけでなく避難環境の構造に左右される。
3. 「逃げ切れる構造」をつくるには、避難計画や訓練だけでなく、電柱倒壊による道路閉塞を防ぐハード整備が不可欠になる。
4. 防災科学、道路行政、福祉防災、男女共同参画などの専門家を交え、無電柱化を地域防災の中に位置づけた点に意義がある。
5. ロビー展示とアンケートにより、津波避難と無電柱化を結びつけて伝えることで、防災インフラとしての共感を広げられることが確認された。

松原副理事長：無電柱化推進の現状

1. 2024 年度は国道や緊急輸送道路では電柱が減少した一方、市町村道を中心に道路全体では 1 万本弱増えている。
2. 年間 800km 程度の整備ペースでは、全国 120 万 km の道路全体に対して進捗が遅く、事業量の拡大だけでなく新設電柱の抑制が不可欠である。
3. 第 8 期の枠組みでは道路管理者主導に戻った印象があり、無電柱化推進法が求めた「電線管理者・開発事業者・自治体の主体的関与」を再確認する必要がある。
4. 欧米だけでなくアジア主要都市でも無電柱化が進んでおり、日本の低い無電柱化率は都市基盤の国際比較上も大きな課題である。
5. 台北市のように、地下埋設物を統合データベースで管理し、工事日程や占用物情報を一元調整する仕組みを日本でも整備すべきである。

寒地土木研：地域景観を活かす無電柱化の推進ポイント

1. 無電柱化は、電線・電柱によって阻害されている地域景観を回復し、観光資源や道路空間の魅力を高める手段である。
2. 美瑛町の丘の事例では、電線・電柱をなくすことで開放的な風景が保たれ、地域の観光資源としての価値向上につながっている。
3. 電線・電柱は、北海道の道路景観を損ねる人工物として大きく、特に農村自然域では無電柱化による景観改善効果が高い。
4. 地中化の低コスト化には、浅層埋設、施工断面のコンパクト化、安価な管路材の採用、特殊部の設置数削減などが有効である。
5. 無電柱化は単独で考えるのではなく、道路事業や地域の観光資源と結びつけ、効果の高い場所から進める必要がある。

ミニセミナー 2026.7/17（金） 3 日目

11:20～11:50

住宅開発地で無電柱化するポイント！～実践編～

井上事務局長

14:10～14:40

無電柱化の海外事例

前川理事

15:00～15:30

東京都の宅地開発における無電柱化の推進の取組について

東京都 都市整備局 市街地整備部 防災都市づくり調整担当課長（兼）指導調整担当課長 牟田口 千尋

井上事務局長：住宅開発地で無電柱化するポイント

1. 住宅開発地の無電柱化は、防災・景観だけでなく、曲線道路や緑化ゾーンを活かした街区設計の自由度向上につながる。
2. 無電柱化された住宅地は、資産価値向上や高付加価値物件としての訴求材料になり、開発事業者にとって販売面のメリットがある。
3. 実務上の鍵は、企画段階から自治体、道路管理者、電力・通信・CATV などと協議し、配線計画と概算費用早期に固めることである。
4. 東京都の「宅地開発無電柱化 HAND BOOK」や無料相談窓口は、初めて取り組む事業者にとって、技術・費用・手順を確認する実務支援ツールになる。
5. 管路、ハンドホール、宅内樹、地上機器、防犯灯の設置場所を早期に整理することが、後戻りや調整遅れを防ぐポイントである。

前川理事：海外事例に学ぶ無電柱化

1. 欧米では、無電柱化は都市だけでなく地方都市・農村にも定着し、電柱や架空線の少ないすっきりした景観が形成されている。
2. 欧米では、変圧器などの地上機器も地下に收容し、歩行空間や景観への影響を抑えている。
3. 道路を浅く掘ってケーブルを敷設する簡易な工法や、地下埋設物を色分けして識別する仕組みにより、安全で効率的な施工・管理が行われている。
4. 地中化は初期費用を要するが、停電リスク、復旧作業、巡視・修理負担まで含めれば長期的に合理性があり、空・景観・防災・歩行空間を次世代に残す街づくりでもある。
5. AI で設計案や地上機器配置、完成後の景観イメージを可視化すれば、市民との合意形成を速めることができる。

東京都：宅地開発の無電柱化支援

1. 東京都は、宅地開発での無電柱化を「努力目標」ではなく、条例・届出・補助・相談支援・認定制度を組み合わせた実装モデルとして制度化しようとしている。
2. 2026 年 10月31日から、規制区域内の住宅用宅地開発では、開発道路や宅地内での電柱新設が原則禁止される。
3. 開発事業者には無電柱化実施計画の届出が求められ、実施しない場合は理由の公表などにより、制度の実効性を確保する仕組みになっている。
4. 補助制度は面積規模に応じて設計され、3,000 m²未満は事業主負担 1/5、3,000 m²以上は 1/3 とし、小規模開発にも導入しやすい設計になっている。
5. 規制区域を段階的に都内全域へ広げる方針であり、今後は宅地開発における無電柱化を、特別な取組から標準手順へ移行させることが焦点になる。

映像記録 YouTube（現状維持）

7/15(水) 1 日目

1. 北海道開発局 <https://youtu.be/RgdM69QZrwI>
2. 国土交通省 <https://youtu.be/NWdoUueJCLl>
3. 国総研 <https://youtu.be/TgilfzGZQGw> 7/1G

7/16(木) 2 日目

1. ぶっちゃけトーク <https://youtu.be/Ks69UCT-NcY>
2. 北海道 <https://youtu.be/lp2MKbKBDbs>

7/17(金) 3 日目

1. 住宅開発地 <https://youtu.be/r40vewpcMls>
2. 海外事例 <https://youtu.be/mx4X2t0SmkY>
3. 東京都 <https://youtu.be/HV8vuiEM9p4>

まとめと次回に向けて

1. 3日間のミニセミナーでは、防災、交通安全、景観、宅地開発、合意形成、海外事例まで、無電柱化を多面的に捉える視点が共有された。
2. 第3次無電柱化推進計画や東京都の新条例により、「新しい電柱を増やさない」制度運用が具体化しつつある。
3. 今後は、狹隘道路、通学路、津波避難路、宅地開発など、地域の実情に応じた小規模・面的・ピンポイントの無電柱化が重要になる。
4. 無電柱化を実装に移すには、低コスト工法、地下埋設物管理、早期協議、補助制度、ガイドライン活用を組み合わせる必要がある。
5. 次回は、事前告知、講演別の要点整理、写真・資料共有を強化し、来場者と自治体・事業者をつなぐ場として発展させたい。



「もし電柱が消えたら？」

インターン生 谷澤理世

・はじめに

今夏、当 NPO でインターンをしております谷澤と申します。

私は今回、無電柱化についての認知度向上のため、SNS や HP を活用した情報発信の企画を行いました。企画について、以下ご報告いたします。

・「無電柱化」との出会い

私は今回のインターンに参加するまで、電柱や電線存在をほとんど意識したことが無かった。

「無電柱化」という取り組みを知ったのも、今から一年ほど前であり、初めて「無電柱化」という言葉を聞いた時も、いまいち関心を持てなかったというのが正直なところだ。

私が初めて「無電柱化」を知ることとなったのは、就職活動で、ある自治体の就職説明会に参加した際、自治体職員の方の担当業務の一つに無電柱化があると聞いた時だった。そこで、無電柱化の取組についていくつかお話をしてもらったのだが、当時はあまり問題意識や必要性というものは感じなかった。

それはなぜだったのだろうと、今回インターンに参加するにあたって自分なりに考えてみたところ、私にとって電柱は「当たり前の存在」になっていたためだと気づいた。

街にある電柱は、あまりに風景に溶け込みすぎており、日常生活でも特段活用することのないものであったため、自分にとっては完全に意識外の存在であった。そのために、「無電柱化」の取組を初めて聞いたときも、どこか他人事のような感覚でいたのだと考える。

説明会で無電柱化の話を聞いた時の私はまさに、「電柱に関心を持たない一般的な若者の典型」だったと思う。しかし、この無関心だった経験こそが、今回の企画を提案するきっかけになり、リアルな若者、ひいてはリアルな住民目線での考察ができたと考える。

・電柱・電線についての問題意識

先述したように、電柱・電線は私達の日常生活に「当たり前の存在」として馴染み過ぎていることが課題であると考えた。

本来、電柱が無ければより快適に通行ができ、魅力的な風景が生まれるはずの場所が、電柱によって人々が「なんとなく不便」に感じる形でなりたっている。

「電柱が無ければ、車が通行していても白線の中を歩けたのに…」「電線がなければ、もっと綺麗に夕焼けの写真が撮れたのに…」などなど、よく考えると電柱・電線がなければ、より快適に過ごすことができたかもしれない瞬間があったのではないか。そうした盲目的な現状について人々に問いただすことで、無電柱化はもちろんのこと、現状に留まることなく変化に適応し続けられるような街づくりに繋がりたいと考える。



・企画のタイトル

「もし、電柱が消えたら？」

～無電柱化【Before⇒After】

比較画像広報画～

・企画の目的

本企画の目的は、人々に電柱の存在を再認識してもらうことで、その必要性を問い、無電柱化についての認知度を向上させることにある。

将来的に、無電柱化がより身近な選択肢になるよう情報を発信し、皆が自分事として電柱電線の問題を捉えるよう働きかけることが本企画の意義であると考えている。

・企画の流れ

- ① 皆様にメールで写真を提供していただく
- ② 提供していただいた写真はこちらで「無電柱化された風景」になるよう加工・編集
- ③ 加工前のご提供いただいた写真（Before）と加工・編集後の写真（After）を使って、当 NPO の会報誌・HP・SNS などで広報（広報する際は二枚の写真の風景写真を Before、After と比較できる形で並べて掲載）

・画像の募集要項

一般募集の皆様・NPO 関係者の皆様

「日本国内で無電柱化した方が良いと思われる電柱のある風景写真」

無電柱化を推進する市区町村の会の皆様

「現在、無電柱化を検討・予定の道路写真」

⇒スマホフォルダにある観光地での写真や日常の何気ない写真、お手持ちにある写真を募集

・企画で集まった画像たち

一般募集の皆様・NPO 関係者の作品



山梨県上野原市内住宅地



山梨県上野原市内住宅地



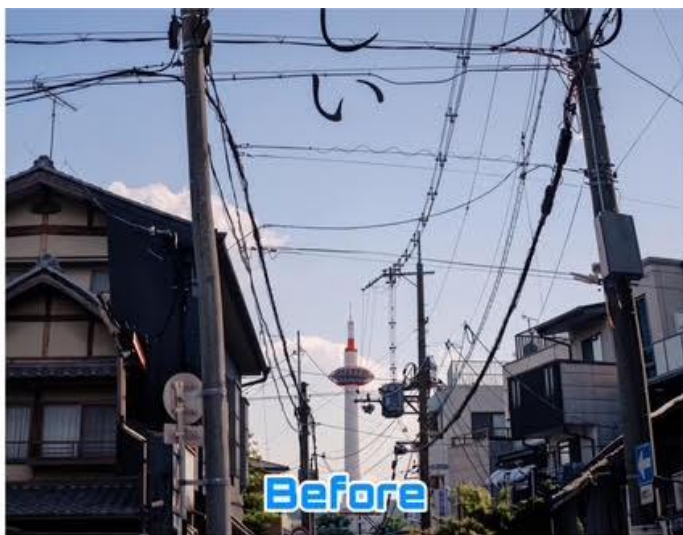
山梨県上野原市内住宅地



山梨県上野原市内住宅地



兵庫県
西宮市
夙川甲山付近



Before



After

京都タワー付近 (Before 写真は雑誌「Meet」より引用)



Before

After

奈良県奈良市奈良町 (一般のかたより)



Before

After

大阪府吹田市の NPO 事務所付近の電柱も消しちゃいました！



Before

After

ゾーン 30
プラスも
無電柱化！

無電柱化を推進する市区町村の会(自治体)の皆様



Before



After

神奈川県
川崎市
南幸町
渡田線



Before



After

島根県大田市
大田町
JR 大田市駅
前周辺
「市道大田市
駅前通り線」



千葉県香取市 市道Ⅱ-1号線



東京都荒川区都市計画道路補助 193 号線（荒川区の方にはこの他にも 11 枚のお写真を送っていただきました）

・企画を振り返ってみて

写真をより多くの人に提供してもらうことは難しかった。しかし、提供してくださった方からいただいたものがどれも素敵なお写真で、無電柱化加工をしながら、無電柱化の重要性をしみじみと実感できた。改めて、応募してくださった皆様には感謝したい。

また、企画を実行するにあたって、より多くの人々の意見を募りたいと思い、海外に拠点を持つ人々にお話を聞いた。ご縁があって海外の人々が参加するイベントに参加することができ、そこでお話を聞けたが、私の拙い英語で企画の説明をしてしまったため、海外視点での無電柱化に対する具体的な意見は聞けなかった。しかし、「日本には電柱が非常に多い」という話をしたとき、ほとんどの海外の人が頷いてくれたため、やはり日本の電柱の多さは目につくものがあるのだと実感した。

今回1か月のインターンを通して、無電柱化を推進することとは、自分たちの街をより良いものにしようという意識を育むことであると感じた。無電柱化をする大きな目的としては、防災・交通安全・景観保護等であると思うが、それらを含む「街づくり」について考えることそれ自体が大切であると考える。より多くの人々が、「無電柱化は災害時に電柱倒壊を防ぐ」という防災的なメリットがあると知れば、そこから「災害の時に電柱が倒壊したらどうなるん?」「なるほど、緊急輸送車両が通れなくなるのか!」という気づきとなり、防災を学ぶきっかけになるかもしれない。さらに、無電柱化の課題である「莫大なコストがかかる」という現状がより多くの人々に共有できれば、より多くの意見や協力者を募ることが可能になるかもしれない。そうすることで、より多くの方が無電柱化を通じて自分の街に関心を持つようになり、持続的な街づくりが形成されるのではないと思う。無電柱化を推進することは、単に無電柱化整備を進めることだけでなく、その街のあり方を皆で考える良いきっかけにもなるはずだ。私は今回のインターンで無電柱化についての取組は終了することになるが、今回のインターンの経験を活かして、より良い街づくりのために今後も取り組んでいきたいと思う。

～ご協力くださった皆様、誠にありがとうございました～

NPO無電柱ネットのInstagram [byebye_denchu](https://www.instagram.com/byebye_denchu/)では50件以上のビフォー・アフターの写真を掲載しています!

他の掲載写真も是非見て下さい!



https://www.instagram.com/byebye_denchu/

インターン生
動画企画
運転して見る電柱
社会日本の現実



2026 登下校の道電柱の危険性

今夏、NPO にインターンにきている学生が、車で運転の際にいつも危ない、邪魔だと感じている電柱を動画で撮影することで表現したい！
ということでこの企画が実現しました。

まずはこのショート動画を見て下さい。



<https://youtube.com/shorts/X-cxRs95Vvo>

他にも 3 作品をユーチューブに UP しています。



こちらもショート動画ですが、逆に電柱・電線のない芦屋の国道をドライブしています！
1作目のショート動画と比べてみて下さい！
スッキリ観が違いますよ！

<https://www.youtube.com/shorts/WGBMc k-p-Ds>

残りの動画も紹介します。

こちらはショート動画と違って、少し長めに作成しています。

国交省が提唱しているいわゆる狭隘道路を意識してインターン生が、安全に配慮しながら、運転しました。車でもこんな感じなので、歩行者（児童やお年寄り）は特に）だったらなおさら危険だと思います！

https://youtu.be/EXlu15p_xLA

<https://youtu.be/wYZ0kVLIfaw>

<https://youtu.be/Ec4esdLtmTU>

BGM や吹き出しの工夫も注目!!!